

令和5年度 第1回 瑞浪市子ども・子育て会議 会議録（要旨）

1. 日時 令和5年7月12日（水） 14時00分から15時30分まで
2. 場所 瑞浪市役所 4階 全員協議会室
3. 出席者：藤井委員長、山内副委員長、山口委員、中尾委員、出村委員、水野委員、西尾委員、木股委員、宮月委員、栗岡委員、後藤委員、柴田委員
欠席者：安藤委員、小島委員
事務局：藤本民生部次長、子育て支援課 有賀、野田
傍聴者：なし
5. 議題
 - 1) 教育・保育事業の状況について
 - 2) 小規模保育事業所の利用定員について
 - 3) 第2期 瑞浪市子ども・子育て支援事業計画の見直しについて
6. 報告事項
 - 1) 瑞浪市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について
7. 会議録（要旨）

事務局	<p>定刻より少し早いですが、委員の皆様がお集まりですので、只今より「令和5年度 第1回 瑞浪市子ども・子育て会議」を開会します。皆様には、ご多忙のところ、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>今回の会議から、委員の交代により3名、新たに委員になっていただいております。後ほど自己紹介がありますけれども、その3名の方の委嘱状については、席のほうでお配りさせていただいておりますので、よろしくお願ひします。</p> <p>今回の会議につきましては、令和2年度から令和6年度までの5年間で計画期間となっております「第2期子供子育て支援事業計画」の進捗状況を報告させていただきます。また、小規模保育事業所の新設について、皆様に審議をお願いする内容となっておりますのでよろしくお願ひします。</p> <p>様々な立場の委員の皆様にお集まりいただいておりますので、忌憚のない御意見をいただき、有意義な会議とさせていただきたいと思ひます。それでは、ただいまより、会議を開催させていただきます。まず初めに瑞浪市長水野光二よりごあいさつ申し上げます。</p>
市長	<p>皆さんこんにちは。何かとお忙しい時間帯でございますけれども、第1回、瑞浪市子ども・子育て会議に各委員の皆さんに出席を賜りまして、誠にありがとうございました。また日頃は、瑞浪市の子ども・子育てについてそれぞれの立場で、御尽力をいただいておりますことに対しまして、改めて、敬意と感謝を申し上げたいと思ひます。当市におきましては、市民の御意見を幅広く伺いながら、今後10年間の行政運営の目標や施策を示す「第7次瑞浪市総合計画」を策定させていただいております。</p> <p>この総合計画の内容を踏まえまして、子ども・子育て支援に関する計画も策定することとなります。こども家庭庁が発足したことに伴いまして、今までの子ども・子育て支援事業計画を拡充して、「子ども計画」として、今年度と来年度の2年間で策定をしていきたいと思ひます。</p>

今年度実施するアンケート調査の項目などにつきまして、今後皆様の御意見を伺いたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

そして少子高齢化が進行する中で、幼児教育・保育の無償化などによる、保護者の就労形態の変化や、女性の社会進出などによりまして、保育ニーズが大変高まってきております。ここ数年、3歳未満児の入園が増加しておりまして、待機児童の発生が懸念される状況となってきました。

そうした中、今回の会議におきまして、令和6年度に土岐地区に開設を予定しております、小規模保育事業所の建設とこのことを反映させた「子ども・子育て支援事業計画」の変更に関しまして、御審議いただくということになっております。公立園で対応しきれないところもあり、私立の施設を開設していただき、待機児童がないような環境を作っていきたいと考えています。

現在、様々な無料化ということで、国も手厚い支援を実施や検討をしていただいております。しかし、どれだけ現金給付、手厚い支援をしても、実際の施設が充実しないとそのお子さんたちが、預かれないという今現状になっています。

私は国に対して、現金給付等ありがたいけれども、その前に、受入れられる施設、安心安全にお子さんを保護者の方々が預けられるような施設、我々行政からしたら、預かれるような施設の整備が先ではないかと訴えています。国は現金給付や無償化を進めています。そうすると保護者の方は、子どもを預けたいと当然思われると思います。しかし、預けようと思ったら、希望の園に行けないということでは、矛盾しますので、サービスを拡充する前に、園の拡充拡大、保育士の確保等、受入れ体制の整備が必要だと考えます。まだ瑞浪市は何とか維持出来ていますが、待機児童がどうしても出てしまう環境になっている自治体もあるのが現状です。

今回、私立で小規模事業所を開設したいという意欲的な方が現れてくれましたので、何とか整備させていただいて、来年の4月から開設していただければ、待機児童が出ないのではと思っています。

また、中京幼稚園が中京こども園になり、主に3歳児以上児を対応いただいておりますが、未満児の受入れもお願いしています。しかし保育士の確保が難しく、課題ということになっているようです。

皆さんの力をお借りしながら、保護者の方の希望に沿えるような体制を確保していきたいなと思っておりますので、ぜひ忌憚のない御意見をいただき、少しでも、子どもたちそして保護者の皆さんの子育て環境を整備していきたいなと思っております。どうかよろしくお願いいたします。以上で私からの挨拶といたします。

事務局

ありがとうございました。本日の出席委員数の報告をさせていただきます。本日の出席委員数は12名となります。過半数の出席がありますので、瑞浪市子ども・子育て会議条例第6条第2項の規定により会議が成立していることを御報告いたします。

本日は、今年度1回目ということですので、自己紹介をお願いしたいと思います。委員の皆様には一言ずつ挨拶をしていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

－ 各委員 自己紹介 －

－ 事務局 自己紹介 －

事務局	<p>市長は、他の公務のため、ここで退席させていただきます。</p> <p>子ども・子育て会議条例第6条により、会長が議長を務めるということになっておりますので、議事の進行を藤井会長のほうにお願いしたいと思います。よろしく願いします。</p>
会長	<p>それでは、議題に入る前にまず事務局のほうに確認をいたします。この会議は公開で行うという会議になっておりますけれども、本日は傍聴を希望されている方はおみえですか。</p>
事務局	<p>おみえではありません。</p>
会長	<p>議題1 教育・保育事業の状況について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>－資料1に基づいて事務局より説明－</p>
会長	<p>この件について、ご意見等がございましたらお願いします。</p>
委員	<p>私は小学校に勤務していますが、小学校でも同様の傾向で、だんだん子供の数が減少しているのが、この資料からも分かります。小学校で言いますと、三つの学校が令和7年度から複式学級になる予定で課題となっています。少子化傾向であるものの、3歳未満児の保育ニーズは増えていることが分かりましたので、その対策を考えていくべきであると思います。</p>
委員	<p>子どもの全体の数は減ってはいるものの、お子さんが小さい内から働いて、保育園等に預ける傾向が高まっていることは、学童のニーズにもつながってくると思われまますので、そちらも含めて長期的な展望を持って考えていく必要があると思います。</p>
事務局	<p>国においては、保育園等の空き教室等を利用して、働いていなくても保育園等にお子さんが登園できる制度を検討し始めています。瑞浪市の状況ではそこまで対応が出来ないということもありますので、私立園、公立園、力を合わせて運営を行っていくということが長期的な展望になってくると考えています。公立園の運営においては、委託、指定管理、民間への移譲に関しても、今後検討する必要があるのではないかと考えています。</p> <p>核家族化が進み、また、育児に悩む親御さんたちがかなり増えており、今後とも子育て支援に力を入れていく必要もあります。</p> <p>学童については、待機児童が既に問題になってきています。中心部の瑞浪小学校になりますと、特に夏休みの期間において、待機児童が実際に出ているというお話も聞いております。学童に関しては民間の団体や保護者会に対応をお願いしています。</p> <p>昨年度、火事で学童の施設が焼失し、別施設で対応していただきますが、人数を制限しています。焼失した施設については再建設をしたいというような希望を持っておみえですので、建設の補助金等について相談に乗らせていただいているところです。</p> <p>待機児童については、幼児園等についてもですが、学童についても今後の課題と認識しています。</p>
会長	<p>議題の2の「小規模保育事業所の利用定員について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>－資料2に基づいて事務局より説明－</p>
会長	<p>この議題について、ご意見等がございましたらお願いします。</p>
委員	<p>現在、全国的に保育士不足であり、私の所属する園においても、保育士がなかなか</p>

募集しても集まらない状況です。この園における保育士の確保の状況などはいかがでしょうか。

事務局 市といたしましても、保育士不足を十分承知しており、こちらの事業者さんにも、保育士の確保は状況について、ヒアリングをさせていただいております。保育士を10名程度確保する予定ということで、現在、内諾を得ている保育士さんは3名程度とのこと。保育士になっていただけそうなあてがあるそうで、園の基本理念に賛同いただけるような保育士さんを選んで雇用したいという意向であるとのこと。市の保育士もなかなか集まらない現状ではありますので、これからも、保育士の雇用の見込みについては、確認していきたいと考えています。

委員 この新しく建設される施設に限ったことではないですが、園児何名に対して、保育士が何名必要というような基準はありますでしょうか。また、この園は基準を満たしていますでしょうか。

事務局 国において、保育士の配置基準が設けられています。0歳児は3名の園児に対して1名の保育士、1・2歳児は6名の園児に対して1名の保育士、3歳児は20名の園児に対して1名の保育士、4・5歳児は30名の園児に対して1名の保育士の配置が必要とされています。この園については、配置基準を満たした保育士数を確保する予定となっています。

会長 他にご意見はありませんでしょうか。それでは、この議題に関して承認していただくということでよろしいでしょうか。

—委員賛同—

本会議協議の結果、「小規模保育事業所の利用定員について」の議題については、この内容を承認します。

会長 報告事項の1の「瑞浪市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について」、事務局から説明をお願いします。

事務局 —資料4に基づいて事務局より説明—

会長 この報告事項について、ご意見等がございましたらお願いします。

委員 子育て短期支援事業について、昨年度実績は12人ということですので、来年度以降の計画について、もう少し人数を増やされてはどうかと思いますがいかがでしょうか。

事務局 また、病児・病後児保育事業について、保護者の方にとってありがたいサービスであると思いますが、利用実績が少ない気がします。もっとPRして、たくさん使っていただけるといいと思います。

事務局 子育て短期支援事業については、概ね最大2週間、年間利用者は1名程度と想定をしています。過去の実績値等に基づいて、計画値としているところです。

病児・病後児保育事業については、毎年、幼児園等にチラシを配布して周知につとめています。また、本日お配りした「親と子のハンドブック“にこにこ”」の冊子の中でも紹介し、ホームページにも掲載しているところです。

ここ数年の傾向としましては、コロナ禍の最中ということが原因で、利用者数が少なかったと考えています。他の要因としては、親御さんたちの職場の環境が整い、お子さんが病気になると、お母さんなどが休みを取りやすい状況もあると聞いておりま

す。制度上の課題としては、前日までに予約が必要で、かかりつけ医の意見書の提出も必要となっておりまして、保護者の負担になっているのではないかと考えています。病院側の人の手配や、空気感染をする病気は預かれないなどの事情もありまして、簡単には解消できない状況となっておりますが、今後の検討課題であるとは認識していません。

委員

私は、東濃子ども相談センターに所属しています。昨年度、私どもの管内における児童虐待の通告の対応件数は280件でした。ここ4年ぐらいは、児童の人口自体は減少傾向ですが、虐待の通告件数自体は減ってない状況です。このような状況において、幼稚園等、学童などを始め、子育て支援の全ての事業がセーフティーネットとして非常に機能しており、感謝申し上げます。計画において検討していただいている、全ての事業が、育児等に悩む保護者の皆さん等の支えとなり、虐待などを未然に防ぐ効果が高いものであると考えておりますので、今後も継続・拡充をしていただける方向でお願いさせていただきたいです。よろしく願いいたします。

会長

この他にご意見等ありませんでしょうか。他に意見が無いようですので、報告事項を終了させていただきます。本日は、積極的にご意見をいただきまして、ありがとうございました。事務局に進行をお返しします。

事務局

委員の皆様には、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

それでは、本日の会議は以上で閉会とします。誠にありがとうございました。

15：30終了